

落花生(ピーナッツ)の栽培

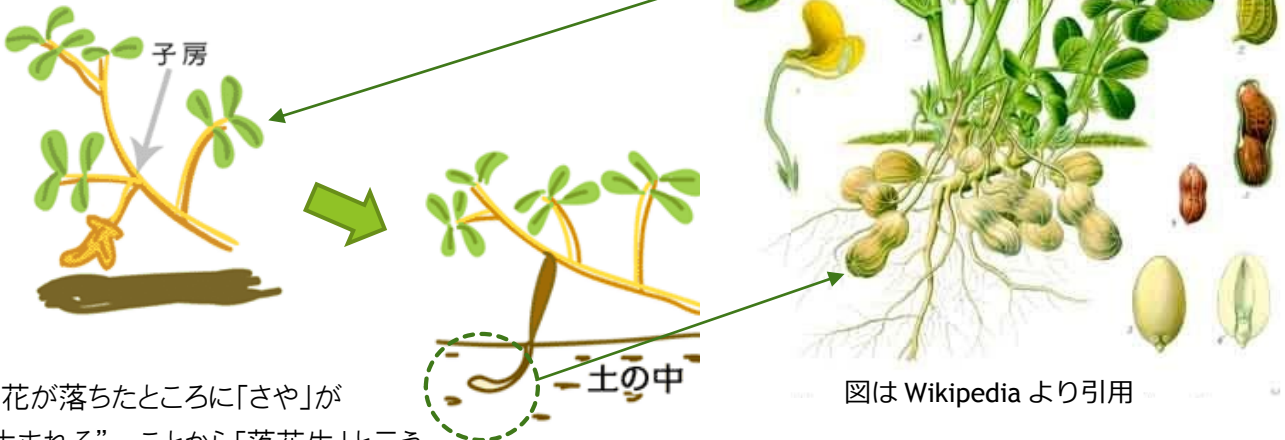
落花生のおもしろさ

原産地は南アメリカ大陸で、江戸時代に中国あたりを経由して日本に持ち込まれたと云われている。(南京豆)

背丈は25~50cmになり、夏に黄色の花が咲く。
受ふんして数日後、子房(図示)からガラが伸びて根の様に地中にもぐり込む。

地中に入り子房ガラの先端がふくらみ、「さや」が되기始める。その「さや」の中でマメが育つ。

マメ科でありながら、土の中で育つ不思議な作物。



“花が落ちたところに「さや」が生まれる” ことから「落花生」と云う。

落花生の栽培

- 土づくり 落花生はPH(酸性・アルカリ性判定尺度)が5.5~6に適した作物で、アルカリ性の強い石灰を施して、土の改良を行った。
肥料は、堆肥(フール)と一般的な化成肥料が施されている。
- たねまき 発芽には地温(土の温度)が20℃以上必要のため、外気温が25℃を超える5月中旬~6月が最適とされている。
タネは横置きにして2cm程度沈めて土をかける。別途、苗床で補植用を育てるので、**1粒**づつまく。ハトやカラスに食べられないよう、二葉が成長するまでネット掛けをする。
- 栽培 発芽40日で黄色の花が咲く。朝咲いて昼ごろにはしぼむ。このころ石灰分の補給と土寄せ
土は子房から出たさやを育てる「ゆりかご」で、適度な湿り気と柔らかさが必要。
- 収穫時期 種をまいてから130~135日、花が咲いてから85日~90日で収穫とされている。

以上